

輪紋病 (Physalospora canker)

Botryosphaeria berengeriana



結果枝上に形成された、いぼ状の越冬病斑

発生生態

伝染源は枝に形成された、いぼ状の越冬病斑部で気温の上昇と共に胞子を形成して飛散します。

果実に感染すると褐色の同心円状の病斑が形成され、軟腐症状が見られるようになります。

防除対策

冬期のせん定時にいぼ状の病斑を削り取るか、枝ごとせん定して菌の密度を低減させることが大切です。

また、袋掛け栽培を行うことで被害が軽減できます。